

事務事業名		奨学基金繰出金		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	教育委員会事務局
総合計画体系	基本政策	1	未来のふるさとを担う子どもたちを育むまちづくり	課・室	学校教育課
	政策	02	子育て支援の推進	係	総務係
	施策	02	経済的支援の充実	内線電話	417
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	1項	教育総務費	実施期間	
	目	4目	奨学基金費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	高等学校及び大学等に進学予定または在学する者	次代を担う優秀で意欲のある人材の育成を奨励する。
現状・課題	毎年、新規の貸与決定者が募集定員を下回っている。現在の基金残高（現金）を考慮し、一般財源の繰入をしばらくの間実施しないこととする。	
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市奨学基金の設置、管理及び処分に関する条例
事務事業概要	奨学基金不足分を繰入している。奨学基金の貸与及び償還事務を行う。	
令和2年度の活動指標 アウトプット	活動内容	活動量
	奨学基金希望者の教育委員会での審査	1回

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算	円		12,000	11,000
補正・流用等		円		0	0	—
合計		円		12,000	11,000	11,000
決算（見込）額 A			円	10,697	11,000	—
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円	0	0	0
		県支出金	円	0	0	0
		市債	円	0	0	0
		その他特定財源	円	4,986	4,000	8,000
	一般財源	円	5,711	7,000	3,000	
正規職員数		人		0.48	0.46	0.46
人件費 B		円		3,088,320	2,963,320	2,963,320
総事業費 A+B		円		3,099,017	2,974,320	2,974,320
市民1人当たりコスト		円		72	70	70

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
奨学基金新規貸与者数		維持	目標	8	人	8	人	8	人
			成果	4	人	4	人	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値を設定した理由	より多くの次代を担う優秀で意欲のある人材の育成を奨励するため。								

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	次代を担う優秀で意欲のある人材の育成を奨励する。						

